

## 物流データシステムを活用した「攻めの物流」

- ◎株主の皆様へ
- ◎連結財務ハイライト
- ◎連結主要財務指標

- ◎セグメント別概況
- ◎会社情報
- ◎株式情報

TOPICS I Luvata社 Special Products事業部門取得にかかる株式譲渡契約を締結

TOPICS II スパッタリングターゲットの「量産技術センター」を新設



# まてりある通信

証券コード: 5711

平成29年3月期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに平成29年3月期の中間報告書「まてりある通信」をお届けいたします。

取締役社長 竹内 章

## 企業理念

人と社会と  
地球のために

## 長期経営方針

### ビジョン

私たちはユニークな技術により、  
地球に新たなマテリアルを創造し、  
循環型社会に貢献する  
No.1企業集団を目指します。

### 目指す姿

それぞれの事業が、  
目指すべきNo.1を達成することで、  
その業界・市場において  
重要な位置を占め、顧客から  
信頼される存在になっている。

## 当第2四半期連結累計期間の業績と株主還元について

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の当社グループの連結業績は、為替水準が前年同期に対して円高で推移したほか、銅価格下落の金属事業への影響等もあり、前年同期に比べ、減収となりました。

営業利益につきましては、ボトル缶の販売が好調であったアルミ事業は増益となったものの、金属事業及び加工事業を中心に円高が影響し、前年同期に比べ、減益となりました。経常利益につきましては、銅価格下落に伴う鉱山配当の減少、持分法損益の悪化などにより減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期に計上したSUMCO社株式の売却益の反動も加わり大幅な減益となりました。

こうした状況を踏まえ、当中間期におきましては、1株当たり2円の配当を実施させていただくことといたしました。

## 今後の事業環境の見通しについて

今後の当社グループを取り巻く事業環境につきましては、電力コストの減少などが期待される一方、円高や銅価格下落の影響が継続することも予想されます。また、米国においては景気回復の持続傾向が見られるものの、中国における景気減速等により、楽観できない状況が続くものと予想されております。

## 当社グループの取り組みと株主の皆様へのメッセージ

当社グループでは、「人と社会と地球のために」という企業理念のもと、2020年代初頭に向け、「ユニークな技術により、地球に新たなマテリアルを創造し、循環型社会に貢献するNo.1企業集団」となることを目指しております。

その実現に向けた、中期経営計画(2014-2016)「Materials Premium (マテリアル・プレミアム) 2016 ~No.1企業集団への挑戦~」は、本年度が最終年度となりますが、中長期的な視点で将来に向けた成長の種を確実にまいていくため、財務規律を考慮した上で、今後も必要な投資についてはしっかりと取り組んでまいります。

成長戦略の柱である「成長基盤の強化」につきましては、セメント事業や金属事業におけるリサイクル分野、及び銅加工事業や超硬製品事業といった、より川下に近い成長分野で積極的に投資を進めてまいりました。本年7月にオランダに新会社を設立し、金銀滓さい(E-Scrap) サンプリング施設の建設を準備中であるほか、9月にはLuvata社Special Products事業部門の株式譲渡契約を締結いたしました。

また、成長が期待できる有望分野において投資を進める一方で、いくつかの事業撤退や株式の売却等も進めており、引き続き経営基盤の強化を図ってまいります。

次の中期経営戦略も見据えて、当社グループ一丸となつての収益対策を進め、株主の皆様のご期待に沿える「No.1企業集団」を目指していく所存であります。

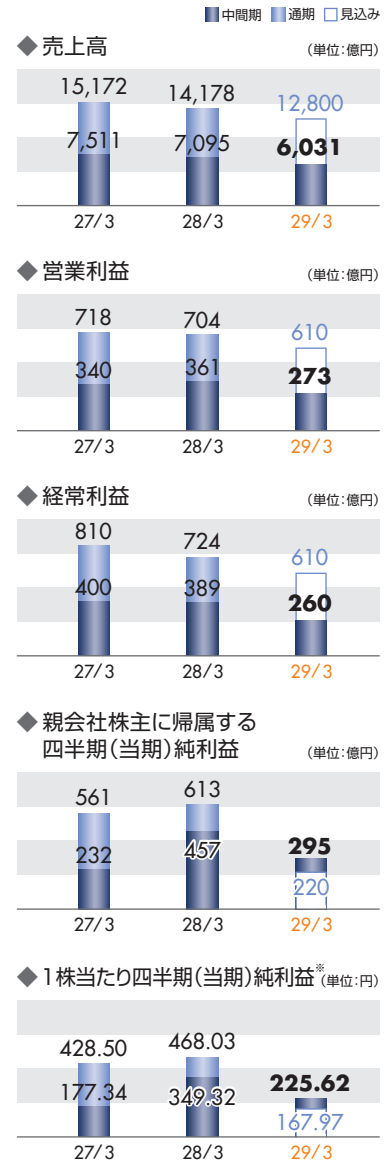
株主の皆様には、倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

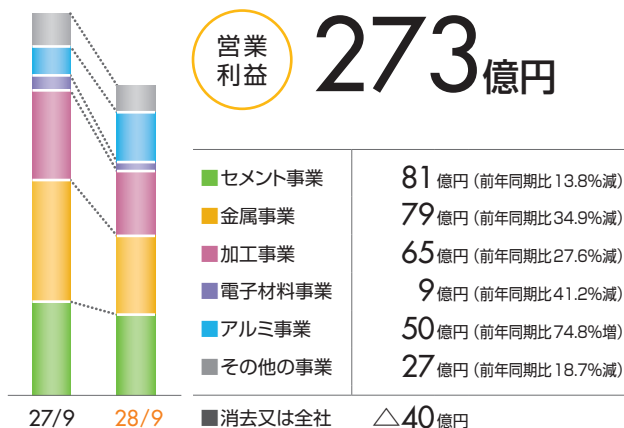
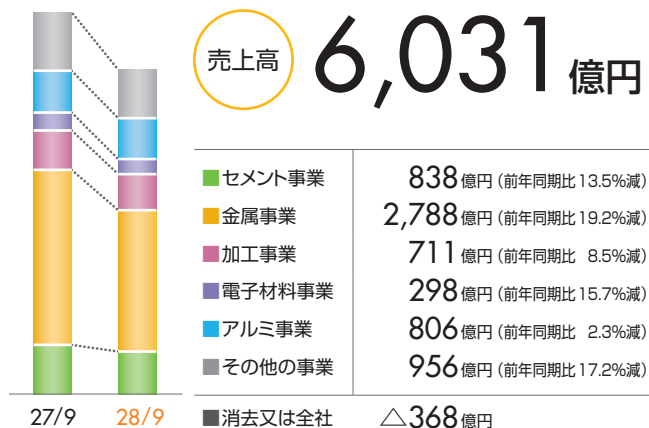
平成28年12月

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期(当期)純利益は、平成27年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

本報告書に記載されている当社グループの現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績などに関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。そのため、実際の業績などは、様々な要因の影響を受け、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

### 業績の推移



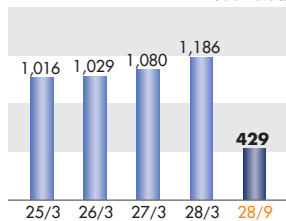


## Analysis

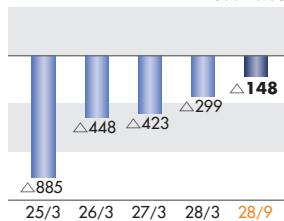
連結主要財務指標

### キャッシュ・フロー

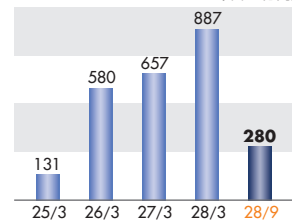
営業活動によるキャッシュ・フロー  
(単位:億円)



投資活動によるキャッシュ・フロー  
(単位:億円)



フリーキャッシュ・フロー  
(単位:億円)

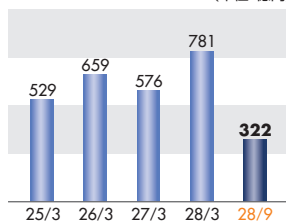


※フリーキャッシュ・フロー＝  
営業活動によるCF+投資活動によるCF

### 設備投資額、有利子負債、D/Eレシオ、ネットD/Eレシオ

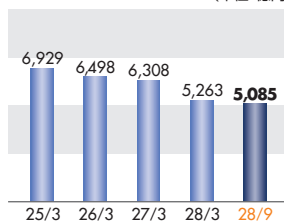
設備投資額

(単位:億円)



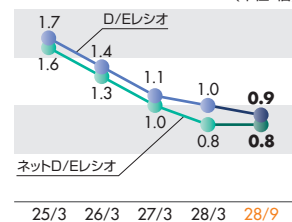
有利子負債

(単位:億円)



D/Eレシオ、ネットD/Eレシオ

(単位:倍)



# PROJECT STORY

プロジェクト  
ストーリー

## 物流データシステムを活用した 「攻めの物流」

今回開発した当社の物流データシステムのコンセプトを教えてください。

物流のあるべき姿、目指すべき物流の姿とは「企業競争力を高める物流」です。それを実現するため、今回は「グループ全体最適化」を目指しました。

平成25年以降、トラックドライバーの慢性的な不足により物流コストが高騰し、運賃交渉による低コスト化は難しい状況にあります。この状況を打開するためには混載化や帰便の利用などで積載率を上げて効率化を図るしかないと考え、物流の「見える化」を進めました。

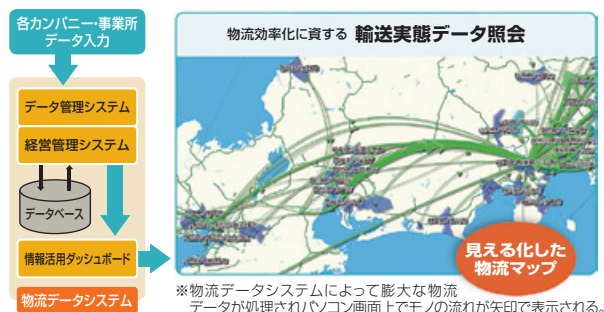
物流の「見える化」とは、具体的にはどのようなものを整備されたのでしょうか？

具体的には、重要なツールとなる「物流マップ」(図1)を整備し、膨大なモノの流れを地図上で視覚的に表現することを進めました。例えば、同じ大阪に位置する当社堺工場と三菱伸銅(株)

三宝製作所からの輸送を一度にできないかといった検討は以前から行っていましたが、物流マップを活用してトラックの往復利用を検討し、経路が重なる2台のトラックを1台で収めるといった、効率化やコスト削減につながる物流の組み合わせが判断しやすくなりました。

現状では県別輸送実績を「見える化」しており、将来的には市区町村単位で分かるようにしていきたいと考えています。

図1 物流データシステムの概要



「攻めの物流」の今後の展開を教えてください。

当社グループ全体では相当な物量ボリュームが見込めるため、国内、海外に広がるグループ全体への拡大を視野に入れています。また、今までは販売物流に対するコスト削減がほとんどですが、調達物流、工場内物流、廃棄物・回収物の物流も含めた、トータルでの物流コスト削減を進めていきたいと考えています。

## セメント事業

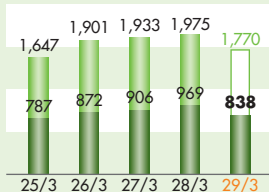


ロバートソン・レディ・ミックス社

米国では、セメント、生コン需要の増加基調を背景に、供給体制の強化と更なる事業拡大を図っています。セメントでは、需要の増加に合わせていつでも輸入再開ができるよう、休止中のロングビーチ・ターミナル再稼働の準備を進めており、生コンでは骨材鉱山の増強に加え、生コン工場の新設手続きを進め、販売拡大を計画しています。

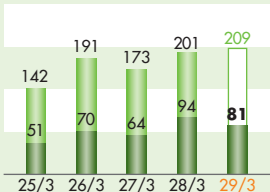
売上高 **838** 億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



営業利益 **81** 億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



## 金属事業

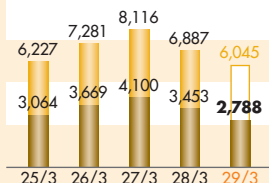


オランダ金銀滓(E-Scrap)サンプリング施設完成予想図

約40億円をかけてオランダに金銀滓(E-Scrap)の受入・検品・サンプルの採取等を行う金銀滓(E-Scrap)サンプリング施設を新設します(平成29年夏完工予定)。金銀滓の主要発生元の一つである欧州にて、サンプルの評価期間を大幅に短縮し、迅速に取引したいという顧客ニーズに応えることにより、更に集荷量を増やしてまいります。

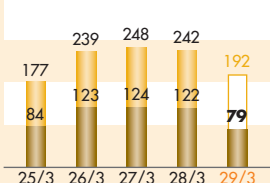
売上高 **2,788** 億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



営業利益 **79** 億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



※平成26年4月1日より、「銅事業」から「金属事業」に名称変更しております。また、「その他の事業」に含んでおりました貴金属の地金に関する事業を「金属事業」に区分変更しております。平成25年3月期は変更前の区分で表示しております。

## 加工事業

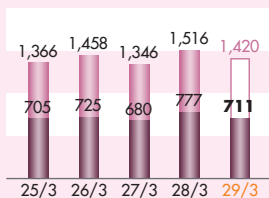


インサートが組み合わされた状態の例、分離された状態の例

当社製品のユーザーに対して、インダストリー4.0(情報技術を駆使して製造現場の最適化を図る戦略)に対応した切削工具の3次元CADデータの提供を開始しました。実際に切削加工を行う前にダウンロードしたデータを用いて切削シミュレーションを行うことで、高精度な動作確認や加工プログラム作成を行うことができるようになります。

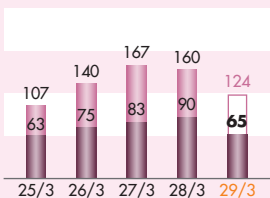
売上高 **711** 億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



営業利益 **65** 億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



## 電子材料事業

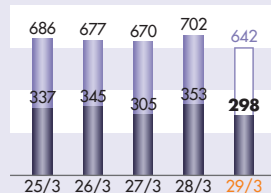


ライトル LTM-400R

「ライトル」は、落雷による瞬間的なサージ（異常電圧）から、工場の工作機械などのあらゆる電子機器を保護する製品です。繰り返し使用に強く、長寿命で配電盤などに簡単に取り付けられます。今後は、更に大容量のサージにも耐えられる「高耐量ライトル」もラインナップ予定です。

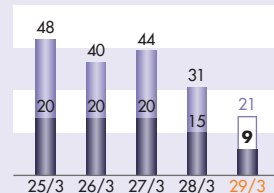
売上高 **298**億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



営業利益 **9**億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



## アルミ事業

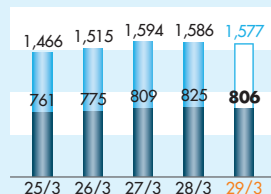


アルミボトル缶

ユニバーサル製缶(株)のアルミボトル缶及びボトル缶用キャップは、その使い易さと優れた機能性から、消費者の皆様から高い評価を受けています。アルミボトル缶は今後もコーヒーをはじめ、炭酸飲料、お茶といった様々な飲料で需要の拡大が期待されています。

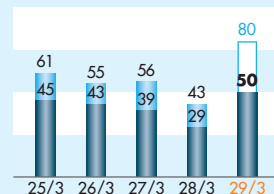
売上高 **806**億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み

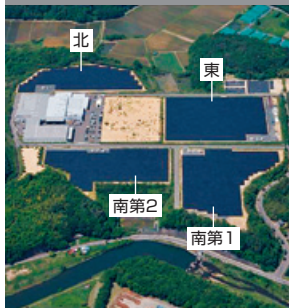


営業利益 **50**億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



## その他の事業



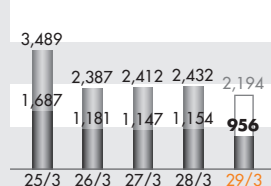
矢吹太陽光発電所の外観

エルエムサンパワー(株)(当社、三菱UFJリース(株)折半出資)は、福島県西白河郡矢吹町に太陽光発電所を新設し、6月に運転を開始しました。

同社は、茨城県、福井県、福岡県、宮城県の4カ所で発電所を運営していますが、5カ所合計で土地面積約33万m<sup>2</sup>、発電設備容量24.7MWとなりました。

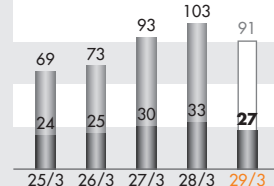
売上高 **956**億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



営業利益 **27**億円

■ 中間期 ■ 通期 □ 見込み



※平成26年4月1日より、「銅事業」から「金属事業」に名称変更しております。また、「その他の事業」に含んでおりました貴金属の地金に関する事業を「金属事業」に区分変更しております。平成25年3月期は変更前の区分で表示しております。

## I 金属事業

# Luvata社Special Products事業部門取得にかか る株式譲渡契約を締結

英国の銅加工事業会社Luvata社傘下で銅加工品の製造及び販売を行うSpecial Products事業部門(以下「Luvata社SP事業部門」)に関する、株式譲渡契約を締結しました。

当社金属事業カンパニーは、鉱山、製錬、銅加工、貴金属の4つの分野で事業を展開しています。銅加工分野では長期経営方針において「銅加工収益性世界No.1」を目指し、連結子会社である三菱伸銅(株)とともに、世界トップクラスの伸銅会社として銅加工事業部門の銅合金・材料技術の強みを活かして、「自動車・半導体向け製品の拡大」、「新興国ボリュームゾーン市場への拡販」に努めてまいりました。

当社はこれまで主として日本国内及び東南アジア地域で銅加工事業を展開してまいりましたが、近年の顧客企業におけるグローバル化の加速、新興国製品との競争激化が顕著に進展する中、「銅加工事業部門におけるグローバルな生産・販売体制

の確立」、「金属事業の成長分野への展開」が更なる成長と収益性向上のために不可欠であると強く認識しています。

Luvata社SP事業部門は、主に、北米、欧州を含む世界9カ国計14法人で事業を展開しており、グローバルな生産・販売体制と顧客対応力を有するとともに、顧客本位の企業文化と独自の低コスト製造技術を併せ持った世界トップクラスの銅加工事業を展開しています。また、自動車用溶接電極材や、MRIをはじめとした医療機器向け超電導線などを含む成長分野にもグローバルに製品展開しており、当社と地域面・製品面・技術面でのシナジー効果が見込まれています。

当社金属事業カンパニーは、Luvata社SP事業部門取得と、同社の事業・顧客基盤を通じた各種シナジー効果の追求により銅加工事業のグローバル展開を加速させ、高収益事業体質の確立に繋げることによって、更なる成長を目指してまいります。

### Luvata社SP事業部門製品例



溶接用電極材



超伝導ワイヤー



太陽電池用インターコネクター



アルカリ電池用合金ワイヤー



めっき用銅ボール



バスバー



異形押出材ホローコングクター



冷却素子

### マーケット

自動車

ヘルスケア

エレクトロ  
ニクス

メタル  
マイニング

発電

エネルギー

など



## II

電子材料  
事業スパッタリングターゲットの  
「量産技術センター」を新設

当社電子材料事業カンパニーは、フラットパネルディスプレイや太陽電池等の基板の大型化に伴い、これに対応する円筒型、大型平板のスパッタリングターゲットの量産技術の開発及びその製造を加速するため、三田工場（兵庫県三田市）に「量産技術センター」を新設しました。

スパッタリングターゲットは、対象とする基板に原子レベルで合金や金属酸化物等の物質を付着させ、薄い膜を形成するための電子材料です。近年では60インチ（約1.5m）を超える大型テレビの普及が進み、大面積の対象基板に均質な膜を形成できるスパッタリングターゲットの需要が高まっています。これに対応する製品として円筒型や大型平板がありますが、特に円筒型は大面積基板に対応できることに加え、利用効率が高いという特性を持っています。当社はディスプレイ用・太陽電池用の円筒型・大型平板スパッタリングターゲットの先発

メーカーですが、円筒型スパッタリングターゲットの市場規模は現在100億円以上と推定\*されており、今後も更に拡大していくものと期待されています。新設した「量産技術センター」に円筒型・大型平板スパッタリングターゲットの開発設備、生産設備を導入したことにより、お客様のニーズにタイムリーに対応する製品の開発・製造体制を強化してまいります。

当社電子材料事業カンパニーは、スパッタリングターゲットの製造、加工、リサイクルまでの一貫した事業を展開できる技術力を武器に、今後もユニークな電子材料製品をお客様に提供することにより、社会に貢献してまいります。

\*「特別調査資料 注目されるスパッタリングターゲット材市場の現状と今後の展望 平成27年5月（新産業総研（株））」より引用。

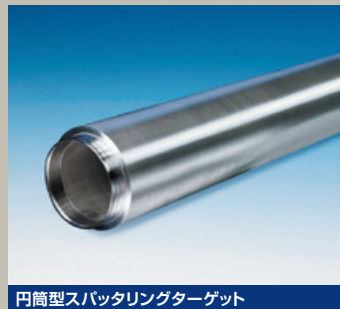
## 量産技術センター



## スパッタリングターゲット製品例



大型平板スパッタリングターゲット



円筒型スパッタリングターゲット

## 会社概要

商号	三菱マテリアル株式会社
設立	1950年(昭和25年)4月1日
本社所在地	〒100-8117 東京都千代田区大手町一丁目3番2号
代表者	取締役社長 竹内 章
従業員数	25,173名(連結)
資本金	119,457百万円
総資産	1,732,046百万円(連結)
主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社
連結子会社	132社

## 役員

取締役会長	矢尾 宏
取締役社長	竹内 章
取締役副社長執行役員	飯田 修
取締役副社長執行役員	小野 直樹
取締役専務執行役員	柴野 信雄
取締役専務執行役員	鈴木 康信
取締役	岡本 行夫*
取締役	松元 崇*
取締役	得能摩利子*

\*: 社外取締役

常勤監査役	村井 俊一
常勤監査役	久保田 博
常勤監査役	石塚 勝彦*
監査役	内海 暎郎*
監査役	笠井 直人*

\*: 社外監査役

常務執行役員	キムボ-ルマクラウ
常務執行役員	森 千年
常務執行役員	木村 良彦
常務執行役員	木村 光
常務執行役員	鶴巻 二三男
常務執行役員	福井 総一
執行役員	松元 大陸
執行役員	島村 健司
執行役員	岸 和博
執行役員	古川 潔
執行役員	水野 達郎
執行役員	中村 伸一
執行役員	原田 順一
執行役員	安井 義一
執行役員	水嶋 一樹
執行役員	野尻 洋
執行役員	熊野 直敏
執行役員	福島 重光
執行役員	柴田 周
執行役員	酒井 哲郎
執行役員	佐々木 晋
執行役員	高柳 喜弘

## 主要な関係会社

インドネシア・カパー・スメルティング社
宇部三菱セメント株式会社*
MMCハードメタルヨーロッパ社
MMネザーランズ社
MCCデベロップメント社
小名浜製錬株式会社
株式会社コベルコマテリアル銅管*
株式会社SUMCO*
株式会社ダイヤコンサルタント
株式会社ダイヤメット
立花金属工業株式会社
日本アエロジル株式会社*
日本新金属株式会社
株式会社ピーエス三菱*
日立金属MMCスーパーアロイ株式会社*
米国三菱セメント社
米国三菱ポリシリコン社
米国三菱マテリアル社
細倉金属鋳業株式会社
株式会社マテリアルファイナンス
三菱アルミニウム株式会社
三菱伸銅株式会社
三菱電線工業株式会社
三菱日立ツール株式会社
三菱マテリアルテクノ株式会社
三菱マテリアル電子化成株式会社
三菱マテリアルトレーディング株式会社
三菱マテリアル不動産株式会社
ユニバーサル製缶株式会社
菱光石灰工業株式会社
ロバートソン・レディ・ミックス社

\*は持分法適用関連会社

## 株式の状況

**発行可能株式総数** 3,400,000,000 株  
(平成28年10月1日付 株式併合後 340,000,000株)

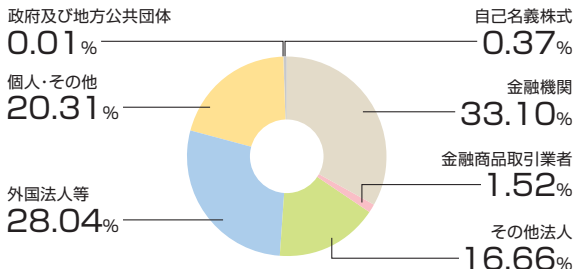
**発行済株式総数** 1,314,895,351 株  
(平成28年10月1日付 株式併合後 131,489,535株)

**株主数** 110,162 名

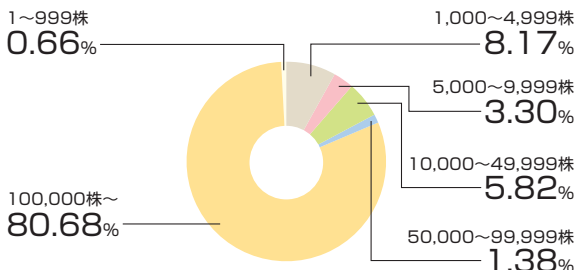
### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	80,008	6.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	55,389	4.21
全国共済農業協同組合連合会	31,351	2.38
明治安田生命保険相互会社	31,018	2.36
MSIP CLIENT SECURITIES	30,193	2.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	24,651	1.87
三菱重工業株式会社	19,000	1.45
三菱地所株式会社	17,397	1.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	16,772	1.28
日本生命保険相互会社	16,736	1.27

## 所有者別株式分布



## 所有数別株式分布



### 単元株式数の変更 及び株式併合に関する お知らせ

当社は、平成28年10月1日を効力発生日として、  
以下のとおり単元株式数の変更及び株式併合を行いました。

#### ●単元株式数の変更

1,000株から100株に変更いたしました。

#### ●株式併合

普通株式について10株を1株に併合いたしました。

詳細は、当社ホームページに掲載しております平成28年5月12日付プレスリリース「単元株式数の変更、株式併合及び定款一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

●アドレスはこちら

<http://www.mmc.co.jp/corporate/ja/news/press/2016/16-0512a.pdf>

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	公告方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。 【掲載アドレス】 <a href="http://www.mmc.co.jp">http://www.mmc.co.jp</a>
定時株主総会	6月		
同総会議決権行使株主確定日	3月31日		
期末配当金支払株主確定日	3月31日	株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 (郵便物送付先・お問合せ先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-232-711(平日9:00-17:00)
中間配当金支払株主確定日	9月30日		
単元株式数	1,000株(平成28年10月1日以降100株)		

## 株式に関するお手続きについて

株式のご所有状況によってお手続き窓口が異なります。

### 1. 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話:0120-232-711(平日9:00-17:00)
● 上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。

### 2. 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話:0120-232-711(平日9:00-17:00)
● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 住所・氏名等のご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法のご指定		特別口座管理機関

株式に関する  
「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主の皆様から、口座を開設されている証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

 **三菱マテリアル株式会社**

お問合せ先：広報・IR部 Tel.03-5252-5206  
<http://www.mmc.co.jp>

表紙写真  
クッションベリー工場  
(米国三菱セメント社)